

校長の資質向上のための指標

第4期 群馬県教育振興基本計画

群馬県教育ビジョン

自分で考えて、
自分で決めて、
自分で動き出す！

最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて

— ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成 —

群馬県の教育が目指す
5つの学習者像

自らが主語となる学びを
つくり、深めていく

対話と交流により、
信頼関係を築いていく

生涯にわたり学び続ける
喜びを実感し、共有していく

多様性を尊重し、
互いに認め合う

社会課題を自分事化
して、行動に移す

目指す学習者像実現のための5つの重点政策

- A : 変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成
- B : 多様性を尊重し、協働する力の育成
- C : 自分と社会をより豊かにするための生涯にわたる学びの支援
- D : 心と体の健康に対する理解と向上
- E : 時代の変化に対応した教育イノベーションの推進

群馬の教育を推進する基盤となる5つの重点政策

- F : 「人」を支える取組の充実
- G : これからの時代の学びを支える施設・設備整備の推進
- H : これからの時代の学びを見据えた体制の整備
- I : 学びの充実に向けた様々な主体による連携・協働の推進
- J : 全ての子どもの学びを支援する取組の充実

＜ 群馬県の校長としての基礎的素養 ＞

(1) 教職者としての資質

主体性・学び続ける姿勢・研究能力

教育的愛情・総合的な人間力

対話する力・想像力

使命感・責任感

規範意識・倫理観・人権意識

(2) 組織のマネジメント

的確な判断力・決断力・交渉力

危機管理能力

(3) これからの時代に求められること

アセスメント能力

ファシリテーション能力

学校経営	学校経営方針等の策定	群馬県の教育ビジョンの理念や趣旨を踏まえ、具体的な学校経営ビジョンを策定する ・国や県、市町村教育委員会の教育施策について深く理解している(A E J) ・各種調査結果等を分析し、児童生徒の実態や保護者の意向等を把握することができる(A B I) ・学校課題の解決に向けた具体的な計画や手立てを、分かりやすく教職員に示すことができる(A E) ・特別支援教育(インクルーシブ教育を含む)の視点をもって、学校経営方針等の策定を行うことができる(B E H J)
	組織運営の整備	全ての子どもの可能性を最大限に伸ばせるよう、教職員の専門性や特性を発揮できる効果的な組織体制を整える ・学校教育目標の具現化に向けて、教職員の職能成長を考え、適切な校務分掌を編成する(F H) ・チームとしての学校の構築に向けて、教職員の役割や相互の協力体制を明確にするとともに、学校内外の状況や課題を適切に把握し、関係機関と共有する(F H I J) ・PDCA サイクルに基づき組織運営を見直し、計画的・効果的な教育活動を推進する(F H) ・自然災害や学校事故等、様々な危機的場面を想定し、危機管理体制を整備する(D G)
	保護者や地域・関係機関との連携	子どもたちの学びの充実に向け、「家庭」「学校」「地域」「行政」「民間」等との連携・協働を推進する ・保護者や地域社会・関係機関と連携・協働し、相互作用により学校の教育活動の充実を図る(B C I) ・地域の人的・物的資源を活用し、児童生徒が地域社会と積極的に関わる教育活動を推進する(B C I) ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)や地域学校協働活動を推進し、保護者や地域等の声に耳を傾け、保護者や広報活動等により教育活動の内容を周知する(H I) ・合理的配慮の提供に当たっては、児童生徒・保護者の意向を尊重して合意形成を図る(B D E H J)
学校教育管理	教育課程の編成及び管理	児童生徒が活躍する将来に必要な資質・能力を育むために、積極的に教育課程の改善を図る ・カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めながら、主体的・対話的で深い学びを実現するための教育課程を編成する(A E H) ・児童生徒を取り巻く環境の変化や地域等の状況を捉え、SDGsの視点を踏まえながら社会に開かれた教育課程の実現に努める(C E I) ・教育課程の実施状況を確認し、質的・量的管理について教員を指導するとともに、学校評価等の結果を用いて解決すべき課題を明確にし、評価・改善を図る(H I)
	児童生徒の管理	「福祉」「保健」「医療」等との連携により、児童生徒の多様性に応じた具体的な支援を推進する ・不登校やいじめへの対応及び発達障害等に関する知識を有するとともに、正確な情報収集を行い、積極的に関係機関と連携し、迅速かつ適切に対応する(B D E H J) ・児童生徒を取り巻く環境の変化を把握し、事件や事故、犯罪被害等の未然防止や発生時の初期対応等の具体的な対応策を検討し、実行する(B D H J) ・児童生徒の学籍を適正に管理するとともに、SNS等の個人情報の取扱いについて教職員を指導する(B E D)
	施設・設備の管理	時代にに応じて変化していく学びに対応するため、将来を見据えた施設・設備等の整備を推進する ・児童生徒や教職員の安全確保に向け、施設・設備や備品の点検・管理を行い、適切な利用について徹底する(D G) ・教育活動の質の向上を図るため、効果的な学校予算方針を示すとともに、適切に予算を執行する(G J) ・児童生徒の学びを支えるため、社会の変化に対応した ICT 環境や学習環境等を整備する(D G H J)
教職員の管理・育成	勤務環境の管理	教職員が主体的に学校運営に参画するなど、働きやすい組織づくりに向けて、教職員の働き方向上を推進する ・教職員とコミュニケーションを図り信頼関係を築くとともに、ハラスメント等を防止し、教職員同士が悩み等を相談できる風通しのよい働きやすい職場づくりを行う(F H) ・教職員の業務の進捗状況や健康状態等を把握し、学校全体でメンタルヘルスケアに努める(D F) ・教職員の勤務時間管理を適正に行うとともに、休暇制度等について周知を図る(D F) ・効率化・適正化の観点から教育課程や校務分掌等を見直し改善を図るとともに、クラウド等を活用した教育DXによる働き方改革を推進する(E F G H)
	教職員の育成	教職員が能力を最大限に発揮し、自らの資質・能力の向上に向けて、チャレンジできる体制づくりを推進する ・一人一人の能力や適性を丁寧に把握し、育成指標を踏まえ、ライフステージに応じた役割と研修機会を与える(E F) ・人事評価制度の意義を伝えるとともに、主体的・意欲的な教師の学びを実現する具体的な指導・助言等を行い、教職員の資質能力の向上を図る(F G) ・校内研修の研修体制の組織化及びOJTの推進を図り、教職員が互いに学び合い高め合う体制を構築する(F H)
	服務規律の確保	教職員に使命感や倫理観の自覚を促し、組織として信頼され、魅力的な学校づくりを推進する ・学校における服務監督者としての自覚をもち、教職員の倫理観を高めるとともに、非違行為の根絶に向けて指導を徹底する(F) ・信頼される学校づくりに向けて教職員の人権意識の高揚を図り、児童生徒へのハラスメント等の防止に努めるとともに、保護者や地域等との対応について具体的に指導する(H I) ・教職員の日常の勤務状況等を把握し、人事評価面談等を活用した個別指導を行う(F)

※ 副校長、教頭及び幼稚園等の園長、副園長、教頭は「校長の資質向上のための指標」に準じます

※ 各項目の()内は、「群馬県教育ビジョン」の重点政策との関連性を示しています